

第83回 理事会（平成16年度第3回）議事録

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時： 平成16年9月11日（土）10：00～11：45
2. 場 所： かながわ県民センター 2階会議室（横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2）
3. 出席理事：（副会長）古郡 敬一、野地 澄雄、山田 隆
（専務理事）片 忠夫
（常務理事）三塚 康雄、上田 英之、渡辺 三郎、菊地 富士夫、越前谷芳隆
（理事）柴田 秀一、本田 衛義、徳本 進、長久保 巖、岡本 洋一、
清水 忠、木村 徳善、菊地 勇二、百海 廷、
栗田 謙悟、平沢 幸一、斎藤 幸雄、吉岡 去私
欠席理事：（会長）河野 洋平
（理事）佐々木 生道、川田 光代
4. 出席監事： 井駒 利一、木村 信吉
5. 議長選出： 片 忠夫専務理事を指名
6. 議事録署名人選出： 清水 忠理事、栗田 謙悟理事を選出
7. 書記： 大井 智子広報委員を指名
8. 議 事

1) 教育本部関係

(1) 報告事項

渡辺教育本部長より、別紙のとおり下記事項についての報告がなされ、了承された。

1. 千葉県スキー連盟（SAC）と技術選打ち合わせ（2004/8/20、次回は9/21）
2. 競技本部よりジュニア専属コーチ依頼について（向井裕一専門委員を推薦）
3. SAJ 教育本部イグザミナー選考会について（向井裕一専門委員を推薦→不合格）
4. SAK 教育本部各専門委員会組織（別紙）
5. 正副委員長会議、教育本部拡大会議開催について（2004/9/25、13時から）
6. 指導員研修会（理論）特別講師→SAJ 教育本部の市野聖治氏に決定

(2) 審議事項

平成17年度スノーボード教育本部行事へのSACからの協定書について（別紙）

渡辺教育本部長より、別紙のとおり、SACが作成した同協定書の案について報告がなされた。
片専務理事より、協定書に出てくる神奈川県スキー連盟と千葉県スキー連盟の表記を、2回目以降はSAKとSACにするよう提案がなされ、承認された。

平成17年度スノーボード指導員研修会 第3回（車山行事）の追加について

渡辺教育本部長より、研修会費4000円を徴収しているのに研修の場がないとして、上記の件について提案がなされ、承認された（同研修会は『SAK 手続き要領』に掲載済み）

2) 競技本部関係

(1) 報告事項

第56回県総合体育大会冬季大会スキー競技会実施要項について（案・別紙）

栗田理事から、同競技会実施要項について別紙のように報告がなされ、了承された。

(2) 審議事項

平成17年度競技本部専門委員について（別紙）

菊地競技本部長より、SAK競技本部専門委員候補者について別紙のように提案がなされ、承認された。

平成17年度競技本部指定選手について（別紙）

菊地競技本部長より、同指定選手について別紙のように提案がなされ、承認された。

SAJ 公認マスタース大会の開催について

菊地競技本部長より、「野辺山スキー場から『平成17年1月16（日）に群馬県スキー連盟が野辺山スキー場でマスタース大会を開催する。せっかく参加者が集まるので前日15日（土）にSAK主催でマスタース大会を開催してほしい。形だけの主催でかまわない。運営はスキー場側で担う』との提案があった。今後の大会運営のテストケースとして、県連より役員2名派遣し管理する（費用の持出し無し）ことで実施したい」との提案がなされ、承認された。

市民大会・ブロック開催大会のポイントレース公認料について（公認料1万円の案）

菊地競技本部長より、「横浜スキー協会から『市民大会をポイントレースとして公認してほしい』との要望があった。公認料1万円を徴収して、実施を検討したい」との提案があった。山田副会長より、「選手の機会均等を考えると、横浜スキー協会だけ許可するのは不公平になりかねない。ルールをきちんと作ったうえで、来期の評議員会にかけるべきではないか。」との意見が出され、各市民大会・ブロック開催大会のポイントレースの公認は来期の課題とし、それまでに競技本部でルールなどを整備することになった。

チャレンジカップ第1戦野辺山大会の冠について

菊地競技本部長より、「上記件について、新キャタピラー三菱東日本支社から、30万円×5年間との回答をもらった。ついには何らかの謝礼を検討したい」と提案があり、野地副会長から「謝礼の贈与は迷惑がかかることもあるので、慎重に対応して下さい。」との意見が出され、「感謝状で検討する」（上田総務本部長）方向になった。

3）総務本部関係

（1）報告事項

資金運用状況について

岡本理事より、別紙のとおり「8/31現在の預金残高は556万8019円だが、打ち切り補助費・新会計ソフト購入費・SAKツール印刷費等で150万円ほどここから支出されると、9月末予測では300万円台になる。前年度に比べ120～130万円程落ち込む。預金残高が300万円台に食い込むのは確実で、近年まれの事態」との報告がなされ、了承された。

ハンディキャップ委員会報告

越前谷事務局長より、別紙のとおり神谷新委員長選出の報告や、手続き要領24ページに「善意の賛助会員ご協力をお願い」を掲載した件の報告がなされ、了承された。

広報委員会報告

徳本理事より、別紙のとおり広報委員会報告事項及び『SAKだより48号』が完成し、本日の手続き要項説明会で配布する旨の報告がなされ、了承された。

北海道企画委員会報告

佐々木理事欠席のため、百海理事より、同委員会のヒアリングコミッティーメンバー（山田副会長、片専務理事、上田総務本部長）や委員会メンバーのほか、「今年のパーティはサッポロビール園に戻した」「土曜の晩に、オプションでナイトースキーを実施する」「競技本部からも役員に参加してもらい、ポールレッスンをサポートしてほしい」件などの報告がなされ、了承された。

e決済検討委員会報告

徳本理事より、別紙のとおり、10月からインターネットと携帯からの行事エントリーを開始する件と、手数料210円中100円をSAKの取り分とする件及び今シーズンは申込み大会を

7行事に限定して行なうとの報告がなされ、了承された。

ウエア委員会報告

長久保理事より、まだ県連ユニホームを申し込んでいない理事は申し込む件の報告がなされ、了承された。

スキー安全会保険の取り扱い再開について

上田総務本部長より、スキー安全会保険の取り扱いが再開された件（手続き要領69ページ掲載）の報告がなされ、了承された。

協賛企業拡大状況報告

長久保理事より、現在の協賛企業（一久堂、ケイスノーザン、たかつえスキー場、ウルル、新キャタピラー三菱、ハケ岳グレイスホテル）の報告がなされ、了承された。

手続き要領説明会の進め方について

本田理事より、本日の手続き要領説明会の進め方について報告がなされ、了承された。

有志によるフットサル体力強化での役員の怪我について

上田総務本部長より、佐々木理事と大淵専門委員の怪我についての報告がなされ、了承された。

（2）審議事項

協賛会員との契約書について

上田総務本部長より、別紙のとおり、「協賛会員契約書」「協賛会員契約書 別表」についての報告があり、「冠か協賛か」について契約の範囲を明記すべきとの提案がなされ、承認された。

S A K 専門委員の追加承認について

越前谷事務局長より、別紙のとおり、広報委員（富川貴幸）とハンディキャップ委員（渡辺儀一、新井知恵）の3人を推薦する提案がなされ、承認された。

クラブ、協会、県連行事でのビデオ作品の募集について

上田総務本部長より、上記の件について（常時ホームページで募集、内容は5分程度に編集済みのビデオ作品と解説レポート、スノースポーツの普及振興が目的、特典は行事取材の依頼）の提案がなされ、承認された。

ハンディキャップ賛助会員の要請および口座開設について

越前谷事務局長より、「ハンディキャップ委員会の運営資金について、県教育委員会からの指導で、寄付ではなく賛助会費をつるることになった。一口1000円なので、役員は率先して協力してほしい。」旨の提案がなされ、承認された。

4）その他

（1）片専務理事からコメント

先シーズン、競技本部の行事で事故が発生したことから、競技大会の保険をかけることを検討しており、2社から見積もりを取っている。

（2）井駒監事からコメント

来たるシーズンは行事内容が多いので、手続き要領説明会では段取りをよくして、意思の疎通を図り、運営してほしい。

（3）木村監事からコメント

本日の手続き要領説明会では、簡潔に説明を行ってほしい。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記により署名する。

平成16年 9月24日

議 長

印

議事録署名人

印

議事録署名人

印